

令和5年度京都大学公共政策大学院

入学試験問題（一般選抜）

科目名：国際関係論

この表紙の次には、以下の出題分野の試験問題が1ページに各2問ずつ、計2ページで4問ある。

1. 国際政治学
2. 国際政治経済学

4問から2問を選んで解答すること。

1問につき、答案用紙1冊を用いて解答すること。

答案用紙ごとに、所定の欄に科目名、出題分野名、問題番号を記入すること。

科目名 国際関係論 出題分野名 国際政治学

問題1 以下の語句(a)から(d)のうち2つを選んでその意味を簡潔に説明しなさい。また、(1)、(2) いずれか1問を選択して解答しなさい。解答の冒頭に選択した記号ないし番号を明記すること。

- (a) ブレジネフ・ドクトリン
- (b) バンドン会議
- (c) マーストリヒト条約
- (d) 民主的平和論

(1) キューバ危機がその後の国際政治にもたらした影響についてできるだけ多面的に論じなさい。

(2) 国際会議体であるG7およびG20それぞれが開始された背景と、その意義及び限界について論述しなさい。

問題2 以下の語句(a)から(d)のうち2つを選んでその意味を簡潔に説明しなさい。また、(1)、(2) いずれか1問を選択して解答しなさい。解答の冒頭に選択した記号ないし番号を明記すること。

- (a) 北大西洋条約機構 (NATO)
- (b) アジア・リバランス
- (c) 保護する責任
- (d) 地政学

(1) 軍縮合意が国際的な緊張緩和をもたらした事例ともたらさなかった事例を挙げた上で、効果に違いが生じた理由を考察して論述しなさい。

(2) 朝鮮半島および台湾海峡における対立それぞれについてその性質を説明し、両者の異同について論じなさい。

科目名 国際関係論 出題分野名 国際政治経済学

問題1

アジア太平洋地域では、環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定（TPP11 協定）と地域的な包括的経済連携（RCEP）協定という巨大な自由貿易協定が締結され、発効している。それぞれの協定の特徴を簡単に記述しながら、貿易の自由化という近似した目的をもつ複数の協定が同一地域で締結されている理由について論じなさい。

問題2

国連気候変動枠組条約（UNFCCC）において、合意から現在に至るまで、ふたつの実施条約が締結された。それぞれの実施条約の基本理念と特徴を比較し、条約間の制度変化について説明しなさい。